

毎月の《読む実学》と《ニュース&amp;データコンパクト》をあなたへ

## メビウス Member's Press

■講義ダイジェスト 平成26年度講義ダイジェスト

■今月のニュース&amp;データコンパクト

■経営者のためのインフォメーション

■会員お仕事紹介 有限会社リプル 丸山 理恵子さん

メビウス主宰  
浅沼 公子

## 主筆からのメッセージ

## 新聞を読む

「自分の新聞が届くんだよ！」と電話が入った。4歳になる孫からである。驚いて娘に聴くと「私が新聞を読んでいると“貸してっ！”と言って、どんどん蛍光ペンでマーカーする。なかなか返してくれないから読めず仕事にならない。だから小学生新聞を“専用の新聞だよ”と取ることにした」と言う。何を思ってマーカーしているのか分からないが、**4歳には4歳なりの新聞の読み方がある**のだろう。この専用新聞効果は、集中力に表れている。しっかり机に向かいペンを取り、新聞時間を過ごしている。

## 新聞を読む

朝の通勤電車を思い浮かべてほしい。混雑した電車の中で、管理職と思しき初老の方から新入社員まで、寸暇を惜しんで新聞を読んでいる。

その理由はただひとつ。「今朝の〇〇新聞に載っていた××のことだけど…」。会社での仕事は、その朝のニュースを前提に話が始まるからだ。ニュースを知らないで会議に出席すれば、上司や同僚との会話にもズレがでてくる。日本の新聞は、その発行部数と内容において世界一である。**経済・社会環境を知る最初の行動は、新聞をとり、読むこと**である。

## ビジネス話材の情報源

日本のビジネスマンの仕事の情報源のトップが**新聞・書籍を抜いて「Web検索」**になった。日本の新聞は、一般紙とスポーツ紙を合わせた発行部数が、10年間で800万部以上減少。一世帯当たりの購読部数は1.07から0.86に落ちた。

ネット社会による新聞への影響は、日本だけでなく、全世界で起きている。

## 「紙」であることの最大のメリットは

私はと云えば、「紙派」である。紙媒体の新聞の影響力はまだまだ大きく、新聞を広げて読むことの有用性は大きいと思う。

ネットを使って情報を得ている人の具体的な利用状況は、「検索サイトのニュースを読む」81.2%、「新聞社のニュースサイトを見る」46.4%であった。

スマホでの電子新聞の閲覧は今ひとつ使い勝手がよくないし、キーワードによる記事検索だけでは、「お探しの」記事しか出てこない。

しかし、紙の新聞ではその一覧性という特質から、**自分の興味ある分野だけでなくその他の話題も、新聞をめくるごとに目に飛び込んでくる**。そして、ついつい読んでしまう。これが自分の頭の壁になり、思考も視野も広げてくれる。こうして**頭に入ったニュースが、意外にも会話のらせん階段を作ってくれる**のである。

## 何を読むか それが問題だ

読む人の立場によって、興味を持つ記事にかなりバラツキのあることに気づく。

経営者は新規事業の記事や企業の特記記事、人事部の人は雇用調整や賃金制度の記事、営業の人は株価や円レートや同業他社の記事といった具合に、知らず知らずのうちに自分の仕事に関係のある記事を読んでいる。新規事業開発のビジネスヒントが潜んでいる。

そして、これらが、**自分の経営センスやビジネスの発想を磨くことにつながり、的確な意見・考え方を持てるようになれる**と信じている。

さあ、新聞を読む！

平成26年度を振り返って

メビウス平成26年度講義が無事終了いたしました。みなさん一年間お疲れ様でした。ありがとうございます。これからも実務にお役立ちの知識や情報をタイムリーに提供し、皆様をサポートしてまいります。どうぞご期待ください！

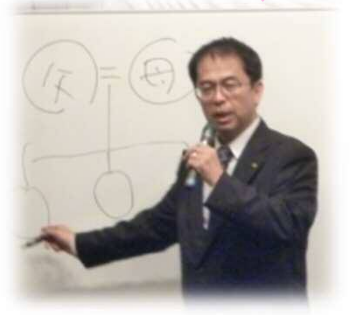
# 平成26年度講義ダイジェスト

## 第156回 女性のための相続・贈与の大原則と事業承継対策 開催日：平成26年6月24日（火）

～あなた自身と会社を導くのは知識武装しかありません～

誰にでも起こりうる相続。税政改正の話も含め、わかりやすく解説していただきました。

- ・相続発生時の主な手続き
- ・小規模宅地等の減少範囲の拡大
- ・相続税基礎控除の縮小
- ・教育資金贈与 など



事業承継コンサルタント  
渡邊 博 氏



## 第157回 経営者のための人事労務 開催日：平成26年7月23日（水）

～“人”がモチベーションを持って安心して働ける労働環境を整備する～

経営者が知っておきたい「労務リスクマネジメント」、改正内容と会社への影響をお話しいただきました。

- ・有期労働契約
- ・労働者派遣法
- ・労働時間の考え方
- ・パートタイム労働法改正 など



労務管理コンサルタント  
税理士 川村 浩 氏



## 第158回 「稼ぐ営業・売れる営業」となるための 営業コミュニケーション力を磨く

開催日：平成26年9月17日（水）

「25年間、居眠り受講者ゼロの記録」を更新し続ける鶴田先生。ワークを交え、即実践できるポイントを伝授していただきました。

- ・自己流ビジネスマナーからの脱却
- ・心理が全て出る「しぐさ・動作・声」
- ・「ニーズ認識の共有」と「ポジティブトーク」で道が拓ける
- ・ニーズ・ウォンツを引き出す「質問力」を磨く など



株式会社ビジネススキル研究所  
代表取締役  
鶴田 慎一 氏





## 第159回 ココ・ファームから学ぶ“大きくしない経営”とワイナリー見学

開催日：平成26年10月7日（火）

毎年大好評の外学。「地元でゆっくり楽しみたい」と、会員の方々よりご意見を頂き、今年は地元足利が誇るワイナリー「ココ・ファーム・ワイナリー」で開催いたしました。ワイナリー見学、池上専務によるご講話、美味しいワインと食事で、会員交流を深め、充実した一日を過ごしました。



## 第160回 女性社員を育てる 仕組みづくり 開催日：平成26年11月12日（水）

大西先生はコンサルティングや就労支援を中心に、行政や企業の女性活躍推進をサポートされています。今回の講義では、会員同士の共同作業ワークがあり、積極的な意見交換が行われました。

- ・企業において、女性の活躍が求められる3つの背景  
労働力人口の減少・労働生産性の低下・求められる女性の力
- ・企業においての女性活躍のメリット
- ・育児から介護へ
- ・女性活躍取り組みによる影響 など



i-project 代表

(株)リー・エージェント・ネットワーク 取締役  
大西 素子 氏



## 第161回 会社の利益が出る仕組み徹底的に解明します

開催日：平成26年12月9日（火）

会社経営の目的はいい会社をつくることです。

当スクール主宰 浅沼公子、顧問 関田恭裕が講師をつとめ、決算書や損益計算書を見るポイントを解説させていただきました。

- ・職人と経営者の違い
- ・将来の予測が経営者の仕事
- ・4つの利益のしくみ どこから利益を出すか など



メビウス主宰  
浅沼 公子

メビウス顧問  
関田 恭裕



## 第162回 似合うだけではない相手に与える心理効果もプラスした色の演出術

ビジネスレディのためのカラーコーディネート 開催日：平成27年1月21日（水）

有限会社エクリュ代表 西川礼子氏をお迎えしました。「似合う色」とは、自己評価ではなく、他人から見た評価で決まります。実際に色見本の布を使い、ご自身に似合う色を見つけました。その後の新春ティーパーティーでは会員様同士、親睦を深めていただき、新しく会員になられた方々には自己紹介もさせていただきました。



有限会社エクリュ  
代表 西川 礼子 氏



## 第163回 会社と家族を守る法律講義 開催日：平成27年4月21日（火）

奥澤優子先生は、現在、地元足利市の奥澤利夫法律事務所にてご活躍なさっています。当日は30名を超える方が参加され、法律に対する関心の高さがうかがえました。いつおこるか分からないトラブル、守るのはあなたです。

＜会社を守る法律＞

- ・労働契約、就業規則
- ・労働災害、売掛金の回収

＜家庭を守る法律＞

- ・成年後見制度 など



奥澤利夫法律事務所  
弁護士  
奥澤 優子 氏

## 地方在宅勤務促進

介護離職者防ぐ

2015.5.15 日本経済新聞

総務省はIT(情報技術)を活用した地方での在宅勤務「ふるさとテレワーク」を推進する。日本生命保険やマイクロソフトが北海道で実施する実証実験などを補助金などで支援する。古里の親の介護などで離職せざるを得ない社員でも、仕事を続けられる仕組みを整えるほか、地方創生につなげる狙いもある。新たな在宅勤務では地方に移住しても東京などの大都市圏と同じ業務を続けられるようにする。介護による離職者を防ぐだけでなく、大都市圏では人材確保が難しいITベンチャー企業でも地方で働き手を確保できる利点もある。これまでに約20地域で合計30社余りが参加する実証実験の応募があり、200~300人程度の移住が見込まれる。



## 母乳バンク熱い視線

早産などの母支援

2015.5.19 日本経済新聞

早産や病気などで母乳の出が悪い母親に代わり、別の女性の母乳を専用施設で殺菌処理して与える「母乳バンク」への注目が高まっている。欧米では広く普及しているが、国内ではまだ1施設が始めたばかり。母乳には免疫力を高める効果などがあるとされ、関係者は「低体重で生まれる子が増えるなか、母乳バンクの需要は高まっており、安全な母乳を提供できるシステムを全国に広げたい」と話す。欧米では約100年前から母乳バンクが専門組織や各病院で整備されているが、日本では対応が遅れていた。



母乳バンクの母乳は低温殺菌して、冷凍保存される

## 介護保険「総合事業」が始動

2年の猶予期間

2015.5.19 日本経済新聞

介護保険の見直しで、新しい「総合事業」が導入された。高齢者の生活を支え介護を予防する多様なサービスを、地域住民の力を生かしながら増やす狙いがある。介護費用の増加を抑えることにもつながるといふ。介護保険の改正ですべての自治体が2017年4月までに総合事業を始めることになった。要支援の人向けのサービスのうち、通所介護と訪問介護は総合事業に移る。移行後は全国一律の基準ではなく、自治体が独自に内容を工夫できる。制度を軌道に乗せるには、地域の力を上手に引き出すことが欠かせない。ボランティアが担い手となり、地域の支え合いの意識を高めいくことが重要になる。移行には2年間の猶予期間がある。

要支援へのサービスは多様化	
移行前 予防給付	移行後 総合事業
・基準は全国一律	・内容や担い手を多様化 ・利用料も柔軟に
訪問介護 通所介護	訪問型サービス 通所型サービス
	例えば 従来の基準を基本としたサービス 緩和した基準によるサービス 住民主体のサービス など
訪問看護 福祉用具貸与など	引き続き予防給付で変わらない



# 介護突然くる日に備え 1人で抱え込まずに

2015.5.13 日本経済新聞

## 親が要介護になる前の子の備え5カ条

- 勤務先や国の介護支援制度を調べる
- 帰宅時に親がどんな介護を望むか聞き、家の危険箇所も把握
- 兄弟や親戚と介護の役割を相談する
- 親の通う病院やかかりつけ医、近所の連絡先を調べる
- 親が住む自治体の地域包括支援センターを調べる



介護は何をきっかけに始まるのだろうか？**主な原因**の上位は①脳卒中②認知症③衰弱④骨折・転倒⑤関節疾患などである。介護の期間は**平均して4年9か月**。だが10年以上に及ぶケースもあり、いつ終わるか分からない。育児・介護休業法に基づく休業期間は**対象家族1人につき通算93日**。これは働く人が**法的に認められた最低ライン**だ。保険証を持って病院に行けばすぐサービスを受けられる医療に比べると、公的な**介護保険はいくつかの段階を踏まないとサービスを使えない**。いざという時に慌てないためには、利用できる勤務先の制度を知り、介護保険や各種サービスの使い方を事前に確認する「**もしもの備え**」が大事だ。

# 孤独な高齢者認知症リスク 週1回は交流

2015.5.26 日本経済新聞

同居人以外との交流が週1回未満のお年寄りは、**要介護や認知症になるリスクが、毎日頻繁に交流している人より約1.4倍高い**ことが日本福祉大や千葉大などの研究チームの調査でわかった。研究チームは**要介護認定を受けていない65歳以上の男女約1万2千人を対象に約10年間の健康状態を追跡調査**した。別居する家族・親族や友人らと会ったり、電話やメールをやりとりしたり、**交流する頻度と健康状態の変化**を性別や年齢、世帯構成などの影響を除いて**分析した**。月1回未満では**死亡リスクも高まった**。研究チームは「**社会的孤立が健康に影響を及ぼす**ことをお年寄りに知ってほしい」と呼びかけている。

他者と毎日頻繁に交流する人との健康リスク発症の比較

他者との交流頻度	要介護度2以上になるリスク	認知症の発症リスク	早期に死亡するリスク
月1回～週1回未満	1.4倍	1.39倍	1.15倍
月1回未満	1.37	1.45	1.34

(注)日本福祉大、千葉大などによる

# ◇広辞苑“還暦”祝う◇

2015.5.20 日本経済新聞

## 読者の声生かし改訂

国語辞典の定番とされる「**広辞苑**」が発売から**60年を迎える**。終戦後すぐに編集が始まり、**初版が出たのは1955年5月25日**。執筆を担う各分野の専門家だけでなく、読者の意見にも耳を傾けながら改訂を続けた。今は、**岩波書店の辞典編集部**で、13人の編集者が国語や約400の百科分野の専門家と話し合い、**第7版に向けた編集作業を進めている**。岩波書店は、**6月から60周年を祝う赤いカバー**に衣替えした「**広辞苑**」を書店店頭にも並べる。広辞苑の強みは**長年培ってきた信頼**。ネット検索で情報を得る**時代の流れをいかに覆すか**、今後の**課題**だそうだ。

広辞苑各版の新語と発行部数

版	発売年	現代語	カタカナ語	人文・社会	科学・技術	発行部数
初版	1955年					100万
第2版	69年					230万
第2版補訂版	76年	愛車	レスラー	マナー	電波天文学	230万
第3版	83年	熟年	パソコン	嫌煙権	スペースシャトル	260万
第4版	91年	いまいち	フリーター	過労死	酸性雨	220万
第5版	98年	茶髪	ストーカー	介護保険	インターネット	100万
第6版	2008年	いけ面	ラブラブ	裁判員制度	青色発光ダイオード	40万

(注)岩波書店調べ。6版の発行部数は2015年4月現在

## 高年齢者・障害者の雇用状況報告

企業には様々な届出義務が課せられていますが、従業員の雇用に関する届出として、**高年齢者・障害者**について雇用状況を報告する義務が課せられています。今回は、この雇用状況報告について説明します。

### 1・高年齢者

高年齢者雇用安定法が改正され、平成25年4月より、原則希望者全員の65歳までの雇用が義務化されました。その対応として、企業には次のいずれかの措置を講じることが求められています。

- ①定年制の廃止
- ②定年の引き上げ
- ③継続雇用制度



この高年齢者雇用に関連して、企業全体の常用労働者が30人以上の事業主は、国が企業の取組実態を把握し、今後の取組に活かすために、毎年6月1日現在の高年齢者雇用の状況について、7月15日までに公共職業安定所に提出することが義務付けられています。

また、定年(60歳以上のものに限る)に達した後、引き続いてその事業主に雇用される有期雇用労働者については、一定の要件に該当する場合には、無期転換5年ルールが適用除外されることとなりました。

### 2・障害者

障害者については、企業全体の常用雇用労働者が50人以上の事業主を対象として、雇用状況の報告が求められています。この「常用雇用労働者」とは、以下のよう  
に1年を超えて雇用される者(見込みを含む)をいい、そのうち、1週間の所定労働時間が20時間以上30時間未満の短時間労働者については、1人をもって0.5人とみなされます。

- ①雇用期間の定めのない労働者
- ②一定期間(1ヶ月、6ヶ月等)を定めて雇用される者であって、その雇用期間が反復更新されて事実上①の同一状態にあると認められるもの
- ③日々雇用される者であっても、雇用契約が日々更新されて事実上①と同一状態にあると認められるもの

また、平成27年4月から、障害者雇用納付金制度の対象範囲が、常用雇用労働者200人超から100人超へと拡大されました。

高年齢雇用・障害者雇用の報告義務のほか、外国人労働者についても一定の届出義務が課されていますので、注意が必要です。売上や業績の拡大に見合った管理体制の拡充がより求められる時代であり、益々、きめ細やかな人事管理が必要となります。

## ご不明な点は、事務局にお尋ねください！

◆お問合せ先: NPO法人 女性のためのビジネススクール メビウス事務局◆  
(栃木県足利市本城2-1901-8 アサヌマビジネスサポート内)

TEL:0284-41-1324 FAX:0284-41-1340

# メビウスは、あなたの会社の 強力サポーターです 個別相談

経営には確かな

アドバイザーが必要です。

ビジネスのあらゆる課題に、

豊富な知識と経験で

あなたの身近な強い味方。

ご相談をお伺いするのは…

**主宰：浅沼 公子** 又は

**顧問：関田 恭裕** です。

〈相談日〉 **6月23日(火)** AM10時  
～PM5時

〈場所〉 ㈱浅沼経営センター足利本社

〈料金〉 無料

〈ご相談のお申込み〉

締切り 6/15

# ～マイ・デスク～ わたしの 相談

女性のライフステージの変化…

マネープラン見直しのタイミングです。

生命保険のご相談…管理台帳を作りましょう

マネー・ライフ プランのご相談

ご相談をお伺いするのは…

**主幹：三上 洋子** です。

〈相談日〉 **6月23日(火)** AM10時  
～PM5時

〈場所〉 ㈱浅沼経営センター足利本社

〈料金〉 無料

締切り 6/15

上記の相談日以外でもご相談を承ります。お気軽に事務局までお問い合わせください。

お電話：0284-41-1324 Mail: office@bs-mebius.net

## My SELECTION

～私のオススメ!～

私は文房具が好きで、文具店に行くとワクワク・ドキドキし、商品を見ながらニヤニヤしてしまう。秀逸な文房具が沢山ある中で、「これは便利!!」と思わず購入した商品をご紹介します。

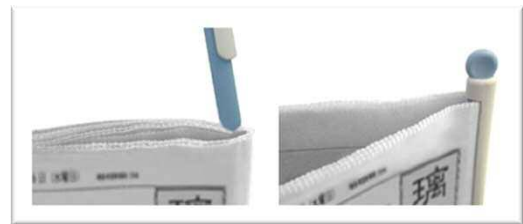
それは**新聞がバラけずに読める“シンブンクリップ”**という商品。クリップというよりも、どちらかというとお箸やペンのような形。根本が固定されていて、挟めるようになっている。使い方は、白い方を外側にして新聞の中心線の上から挟めばいい。新聞の折り目にあわせて、クリップの内側が溝状になっていて、一度クリップを付けてしまえばそう簡単にはずれない。これにより、**新聞の中心線をビシッと固定しておく**ことができる。

私が新入社員だった頃、混雑した通勤電車の中で新聞を器用に折りたたんで読んでいた諸先輩方にびっくりした。これは社会人としてマスターしなければと早速チャレンジしてみたが、なかなか難しかった。テーブルの上でさえ、中心線がズレ、バラバラになってしまう新聞。だがこれがあれば、ストレスなく快適に新聞を読む事ができる。

メビウス事務局 吉澤和美

～新聞がバラけずに読める～

## シンブンクリップ



シンブンクリップ

株式会社リアライズ

<http://www.realize-idea.com/shinbunclip.html>



(有)リプル 小売業  
丸山 理恵子 さん

〒376-0041 群馬県桐生市川内町2-84-8  
TEL:0277-65-5005 FAX:0277-65-5600



ミキプルーンでお馴染みの三基商事(株)の「食生活に対する正しい知識と認識を、皆様に広く深く浸透させたい」という健康運動を目的とした、高品質の栄養補助食品やスキンケア商品、家庭用品等を実体験と豊かな経験を交えて、皆様に最適なものをご案内しています。最新の栄養学や医学、人体生理学などを自然との関わり合いの中で追求し、研究開発された商品です。また、食と健康のあり方に関心をもって、食生活改善の必要性を理解していただきながら、お客様の健康と未来を応援しています。

健康運動を目的とした、高品質の栄養補助食品やスキンケア商品、家庭用品等を実体験と豊かな経験を交えて、皆様に最適なものをご案内しています。最新の栄養学や医学、人体生理学などを自然との関わり合いの中で追求し、研究開発された商品です。また、食と健康のあり方に関心をもって、食生活改善の必要性を理解していただきながら、お客様の健康と未来を応援しています。

ミキプルーン  
エキストラクト



## 食育をまなぼう！



「おいしい」は心と体の栄養です！

### 理想の食卓

安全な食材を選び、栄養のバランスを考えて作った愛情ある料理とみんなで楽しく食べる環境

重要!

- ・健康情報をうのみにしない！
- ・自分自身が健康に対する知識を深める！
- ・自分で食べるものを選んで、取り入れる！

「日本型の食生活」を見直そう！

健康は正しい食生活が基本です。現代人は、欧米化された食生活で栄養の偏り、肥満、生活習慣病の増加に悩まされています。日本人が伝統的に食べ続けてきた食事の素晴らしさと、そこに隠された健康の知恵を再認識してみましょう。



### 食卓から始まる『健康』と『未来』

食の問題は、みんなの課題です！健康あつての未来、それは毎日の食卓から始まっているのです。

## コラム 辛口甘口こんなこと

### 「解」が見つからない ～自動車編～

先日、マンションの管理会社の方と話をする機会があった。今、都心のマンション住まいの方の車離れが激しい。駐車場区画が20あっても、3区画しか埋まらない。1区画は月35,000円前後。埋まらなければ当然、管理組合会計は予実にズレが生ずる。当然、空き区画の問題となる。まず、外部貸しが検討される。しかし、防犯上、見知らぬ人が敷地内に入出入りするのとは好ましくない、といった意見が優勢。私もそうだが、特に高齢の方は出かけるなら地下鉄やバスが楽。近所なら自転車。車の必要があればタクシーだ。駐車場代などの固定費の節約につながるという利点も大きい。

世帯当たりの自家用車保有台数は、全国平均1.069台。東京はその半分以下で0.461台。群馬県は1.654台、栃木県は1.628台で全国平均を上回る。一人一台が当たり前の地域が自動車産業を下支えしている。このまま何も対策を講じないと2030年には保有台数1割減の予想がある。高齢者や若者が運転しやすい環境を整えるなどの対策を打ったうえで、高齢者の運転可能年齢が5歳伸びる、20代若者、30～50代女性の保有率が15%高まるといった状況が実現すれば、現在よりも高い保有水準になるとの試算も出ている。日本が誇る自動車（関連）産業のためには乗る人、保有する人が増え続けることが必須条件だ。

運転に年齢上限はない。一度免許証を取得すると更新を続け、本人が大丈夫と思えば何歳になっても表向きは可能だ。車が日常生活の必需品である場合、「自分で車を運転すること」を手離したら仕事にも生活にも多大なる支障をきたす。一方、交通事故全体は減っているのに、高齢者ドライバーの事故は逆に増えている現実。事故を未然に防いだり、運転技術自体を補う装備開発で車の安全性能は今以上に向上し続けるだろう。しかし、100%安全は不可能だ。

こんなことを考え始めたのも、両親を見ていてのことである。車の運転は生活の必需品。自分での運転を手離したら今の生活の質は大きく下がり、というよりも、運転を取り上げた生活は想像ができない。今は2人とも何の問題もなく「上々な運転」だが、いつ「時期」が到来するかは家族でも予測不可能だ。そして、その「時」を告げる役目は誰が担うのか。現時点では何も考えられない。主幹：三上 洋子